

平成19年度
家の光事業計画

J Aグループ
社団法人 家の光協会

家の光ビジョン

文化と協同の力で、
人・組織・地域の元気づくりをすすめ、
心豊かな幸せづくりをめざします

共生の時代にふさわしい慈愛にあふれる家庭・家族のあり方、心豊かなコミュニティの再生とその持続可能な発展。

それらを願うすべての人々のおもいを満たした社会を実現するために、文化と協同の力で「人・組織・地域の元気づくり」をすすめ、「心豊かな幸せづくり」をめざす事業展開に取り組むことを「家の光ビジョン」として宣言します。

目次

.基本方針

- 【1】はじめに 3
【2】平成19年度における重点的事業展開 4

.事業別計画と実施内容

- 【1】食と農の教育、農的価値のたいせつさを広め、
人・組織・地域の元気情報を発信する企画・制作 6~13

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 『家の光』 | 5. 『花ぐらし』 |
| 2. 『地上』 | 6. 『家の光図書』 |
| 3. 『ちゃぐりん』 | 7. 企画研究会・通信員・モニター等 |
| 4. 『やさしい畑』 | |

- 【2】協同意識の醸成を図り、
地域に輝く元気JAを実現する教育文化活動 14~15

1. 教育文化活動の促進・強化
2. 家の光文化賞と家の光文化賞農協懇話会活動

- 【3】組合員の結集力とJAの求心力を高め、
世代をつないでJAファンをつくる普及運動 16~25

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 普及活用運動の基本 | 6. 『花ぐらし』 |
| 2. 『家の光』 | 7. 『家の光図書』 |
| 3. 『地上』 | 8. 広報宣伝 |
| 4. 『ちゃぐりん』 | 9. 業務管理システム |
| 5. 『やさしい畑』 | |

- 【4】人と組織と地域を結び、暮らしを豊かにする
記事活用・文化活動 26~33

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 記事活用による文化活動 | 4. 読書運動 |
| 2. 食と農の教育 | 5. 女性の活動支援 |
| 3. 次世代対策支援 | |

- 【5】JA・地域の元気をめざす、新たな事業領域への挑戦と
事業革新と業務改革による、組織運営と経営基盤の強化 34~37

1. 新しい事業開発
2. 組織運営ならびに経営基盤の強化

.別表 19年度県別普及目標一覧

平成19～21年度 家の光事業3か年計画

【基本方針】

- (1) 家族のきずなを強め、豊かな人間関係と暮らしを実現する活動に取り組みます。
- (2) 食と農への理解と信頼を高め、農業尊重の思潮づくりに役だつ活動に取り組みます。
- (3) 教育文化活動を促進し、JAの求心力・組合員の結集力強化とJAの組織基盤の拡充を支援する活動に取り組みます。
- (4) いきいきとした地域づくりに貢献し、交流の場づくりに取り組みます。
- (5) 子どもたちの心に「いのち」のたいせつさをはぐくむ活動と、次世代活動の支援に取り組みます。
- (6) 文化と協同の力による、新たな事業領域の開発と挑戦に取り組みます。

基本方針

【1】はじめに

1. 情勢の変化と新しい潮流

日豪EPA交渉やWTO農業交渉による国境措置の見直し、品目横断的経営安定対策の導入など、新たな農政の展開、「食と農を結ぶ活力あるJAづくり」など、農業・農村・JAを取り巻く情勢は変化しています。また、社会全体で見れば、経済効率至上主義や規制緩和によりもたらされた格差の広がりや少子高齢化社会の到来、家庭・家族にまつわる心・体・経済の諸問題などからくる、とらえどころのない不安感が社会に蔓延しています。一方では予測を上回るスピードで携帯電話などモバイル機器が浸透し、文字・活字文化をめぐる環境も変化を遂げています。

こうしたなか、営利を目的としない組織による自発的、自主的、自律的な取り組みが広く浸透し、地域における存在感が高まっています。心の豊かさや人と人とのふれあい、相互扶助をたいせつにする協同組合組織による地域に向けた活動への期待も高まりをみせ、食と農・地域社会に根ざした組織であるJAの社会的役割は、ますますたいせつになっています。

2. 家の光事業の役割

第24回JA全国大会決議において「活力ある協同組合づくりのための教育文化活動の展開」が明確に位置づけられ、JAの組織基盤の拡充とJAの総合力発揮の重要性が提起されています。

この決議の実践のために家の光協会は、JAの教育文化活動を専門的に補完・支援する団体として、JA教育文化活動の重要性を伝え促進する活動に取り組みます。文化と協同の力を源泉に、組合員・地域住民とJA役職員との結びつきを強める役割を果たしていくと同時に、出版・文化団体としての公益・公共的な取り組みにより人・組織・地域の元気づくりをとおして「幸せづくり」をめざす活動を展開していきます。

3. 家の光ビジョンに基づく3か年計画の第一年次として

家の光協会では、情勢と21世紀第1次・第2次中期計画の総括をふまえ、本会がめざす姿を「家の光ビジョン」として宣言し、「人・組織・地域の元気づくり」の促進に取り組みます。

「平成19年度家の光事業計画」は、「平成19～21年度 家の光事業3か年計画」に基づくものです。

前ページに掲げる3か年計画の基本方針の達成に向けて、企画制作、普及運動、記事活用・文化活動、新たな事業領域への挑戦と組織運営・経営基盤強化に取り組んでまいります。

【2】平成19年度における重点的事業展開

1. 食と農の教育、農的価値のたいせつさを広め、人・組織・地域の元気情報を発信する企画・制作

- (1) 中期基本方針をふまえ、「家族のきずなを強め、豊かな人間関係と暮らしの実現」「食と農への理解と信頼を高め、農業尊重の思潮づくり」「JA教育文化活動の活性化」「いきいきとした地域づくりへの貢献と、交流の場づくり」「子どもたちの心に『いのち』のたいせつさをはぐくむ活動」などに資する、各媒体の企画の充実強化を図ります。
- (2) 家庭菜園や園芸を通じて自然とふれあい、ひいては農業への関心を喚起するという意図に基づき、『やさい畑』に引き続き平成19年3月に『花ぐらし』を創刊しました。都市住民や地域住民のニーズに応えるとともに、農・自然とともに暮らすライフスタイルの提案と、農業尊重の思潮づくりに努めます。
- (3) 各媒体の制作に当っては、情報収集の充実に努め、読者ニーズの把握と反響分析をふまえて、普及運動や記事活用・文化活動と連携した、読者の拡大・継続に資する企画の立案・充実を図ります。

2. 協同意識の醸成を図り、地域に輝く元気JAを実現する教育文化活動

- (1) 第24回JA全国大会決議に基づき、組合員の参加・参画意識を醸成しJAの組織・運営への理解の浸透を図る、教育文化活動の役割と家の光事業について、JA役職員の理解とJA事業計画への位置づけを促進するため、JA・都道府県・ブロック・全国の各段階における諸会議・研修会の充実に努めます。
- (2) 「教育文化・家の光プランナー」制度の充実を図り、教育文化活動促進のための体制づくり支援を強化します。
- (3) JA運動に果たす教育文化活動の重要性を確認し合い、会員相互の交流を深める活動に取り組む「家の光文化賞農協懇話会」(「家の光文化賞」受賞JAにより構成)の活動支援を強化します。内容の高度化のほか、懇話会会員JAにおける普及活用運動を支援します。
- (4) 『JA教育文化』『家の光ニュース』の企画の充実と活用を図ります。また、各種メディアを活用した広報宣伝活動を強化し、JAへの情報の発信と相互交流をめざした取り組みを進めます。

3. 組合員の結集力とJAの求心力を高め、世代をつないでJAファンをつくる普及運動

- (1) 「世代をつなぐ協同のネットワーク『家の光』長期愛読者拡大運動」の展開を中心に、JAやJA中央会における事業計画への位置づけ促進や、「教育文化・家の光プランナー」ならびに「家の光文化賞農協懇話会」との連携を強化し、総合推進により『家の光』『地上』『ちゃぐりん』の平月号基礎部数目標の達成を図ります。

- (2) 『地上』は、付録および特集企画と連動した普及活用運動を展開するとともに、米・園芸・畜産など品目別関連企画と連動したブロックの共励運動を働きかけます。『ちゃぐりん』は、「JA食農教育プラン」策定・実践を支援するために、学習資材や副読本としての活用を中心に、特別普及運動を展開します。
- (3) 『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』の普及活用をとおして、食と農への理解と信頼を高める情報発信に貢献し、組合員・地域住民・都市住民への情報提供と地域の元気づくりを進めます。

4. 人と組織と地域を結び、暮らしを豊かにする記事活用・文化活動

- (1) 協同活動の成果を地域に広め、農村文化の向上とJA教育文化活動の促進に寄与する家の光大会の開催をはじめ、JAの総合機能を生かす「ライフプラン&家計簿」学習・実践運動の展開、各種生活文化活動の提案・支援をとおして、組合員・地域住民の心豊かな暮らし・幸せづくりに努めます。
- (2) 「食と農の教育」を進め、地産地消を支援する活動を充実するとともに、新たに生産者と消費者の交流を目的としたフォーラムの開催を進めます。また、将来の地域とJAを担う次世代(子ども)を対象とした活動に取り組みます。
- (3) 文字・活字文化振興法の制定に伴い、出版文化団体の社会的活動として、読書運動を強化します。そのための研究開発に取り組むとともに、他団体との連携を促進します。
- (4) 農山漁村における女性の果たす役割が増大している現在、JA女性組織の活動支援、とりわけリーダー層の育成を進めるとともに、地域の女性の社会参加・自立を支援することを目的とした活動を展開します。

5. JA・地域の元気をめざす、新たな事業領域への挑戦と事業革新と業務改革による、組織運営と経営基盤の強化

- (1) 本会の持つノウハウを最大限に生かし、元気なJAと地域づくりに貢献する、新たな事業の開発研究に取り組めます。新雑誌の開発やICTによる情報の受・発信、元気高齢者や地域振興・女性の活躍に資する活動など、時代に即応した研究開発に、取り組めます。その他、JAで活用しやすい教育資材の企画制作や、農業・農村・JAに関する研究など、公益法人としての役割を果たす事業・活動を、よりいっそう充実・強化します。
- (2) 家の光事業の総合力発揮により、家の光ビジョンの実現を図る事業展開を進めるために、職員の意識改革と業務改革への取り組みを強化するとともに、部門別収支管理を徹底し、目標の達成と経営基盤の強化に努めます。
- (3) 平成18年6月に公布された「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」「公益社団法人及び公益財団法人に関する法律」に対応するため、公益性の認定基準に準拠した事業展開ならびに組織運営に努めます。

． 事業別計画と実施内容

【 1 】 食と農の教育、農的価値のたいせつさを広め、人・組織・地域の元気情報を発信する企画・制作

1 . 『家の光』

「生活力アップ！～自給で家族みんなが豊かな暮らし」を基本コンセプトとし、「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を基本テーマに、共生の視点をもとに慈愛にあふれる家庭・家族や、心豊かな地域社会（コミュニティー）の実現とその持続的発展をめざして、「協同組合の家庭雑誌」としての媒体特性を生かした企画制作に努める。

そのために、協同する喜びや感動あふれる誌面づくりを強化するとともに、「JAと組合員・地域住民の結びつきを強めるコミュニケーションツール」としての役割をいっそう果たすため、JAグループの考え方をたいせつにした「人・組織・地域の元気づくり」に役だつ企画立案に努める。また、JAグループの総意である「食と農を結ぶ活力あるJAづくり」の実現に向けて、JA教育文化活動を促進するための誌面の充実や、JA女性組織の活性化に役だつ企画、「ライフプラン&家計簿」学習・実践運動を促進する企画を掲載する。また、ライフプランや生活実用に役だつ企画など、生活力アップにつながる付録を年6回発行する。

重点企画

- 1 . 家族のきずなを強め、豊かな人間関係と暮らしを実現するための企画
たがいに認め合い・支え合う家庭、家族みんなが健康で心豊かな家庭づくりをめざして、共生の視点をたいせつにした企画の充実に努める。
<企画例>
「夫婦パートナー宣言」「認め合い、支えあって嫁姑」「自給は心の健康、体の元気のもと」「親力、老人力の生かし方」「少子化時代の子育て支援」など。
- 2 . 心豊かな地域社会（コミュニティー）の実現とその持続的発展をめざすための企画
少子高齢社会の下、心豊かな地域社会の実現に向けて、新たな視点でのコミュニティー機能の発揮法を提案する。
<企画例>
「ゆいの心は協同の心」「足元の財産を見直そう」「集落営農でコミュニティーの活力を」「団塊世代の知力・技術に学ぶ」「生涯現役の農ある生活」など。
- 3 . 「食と農の教育」を進め、農業・農村の基本的価値への理解を深めるための企画
子どもたちの「いのち」をたいせつにする心をはぐくむために、また、「いのち」を優先する地域社会づくりに向けて、「食と農の教育」関連の企画を充実する。
<企画例>
「いのちをいただく食事」「米と日本人」「水田は日本の宝」「日豪EPA交渉と

日本農業」「農業体験・実習の勘どころ」「郷土の食を伝えよう」など。

4. 「食と農を結ぶ活力あるJAづくり」の実現に向けて、JA教育文化活動を促進するための企画

JAを中心とした組合員・地域住民の豊かな暮らし、幸せづくりを促すための視点や実践のためのポイントを提案する。

<企画例>

「協同の心で明日を拓く」(家の光文化賞受賞組合レポート含む)「みんなのJA教室」「JAは人のため、地域のために」「ファーマーズマーケットで地域いきいき」など。

5. JA運動への女性の参加・参画を促し、JA女性組織の活性化に役だつ企画

JA全国女性組織協議会の定める活動テーマをふまえ、JA運動や社会への参加・参画を支援する企画の充実に努める。

<企画例>

「やってみよう! JA女性組織」「わたしからあなたへ ~ フレミズ通信」「みんなのJA教室」「JA女性組織活動レポート」など。

6. 「ライフプラン&家計簿」学習・実践運動を支援する企画

家族それぞれの夢の実現、家族みんなの夢の実現をめざす「ライフプラン&家計簿」学習・実践運動に連動した企画を進める。

<企画例>

「ライフプランの勘どころ」「環境にやさしい暮らしの節約術」「自給で家族みんなが豊かな暮らし」「マネー講座」など。

7. 感動と共感を呼び、家族みんなで楽しめる企画

感動あふれる読者体験手記、親子や孫と子で楽しめる企画、趣味を生かし暮らしを豊かにする企画の充実に努める。

<企画例>

「読者体験手記~わたしの宝物」「わが家のアウトドアライフ大作戦」「じいじとばあばの手作りおもちゃ」「ハンドメイドな暮らしの知恵」など。

日本の農と食を担う人々の雑誌として、「わかりやすく」「おもしろく」「タイムリー」「役にたつ」をキーワードに、読者の視点に立って企画立案する。農業政策の解説、農畜産物の流通・消費情報の提供に努めるとともに、JA運動をはじめとした地域づくりに資する企画を充実させる。また、JA青年部活動の活性化に役立つ企画を掲載するほか、読者ニーズに応えるタイムリーな付録を年2回刊行する。

重点企画

1. 農業経営に役立つ企画

農畜産物価格が低迷するなか、生産、流通、消費動向に関する情報を掲載し、農業者の経営向上に資するヒントを提供する。

<企画例>

連載企画「A g r i - B i z」「愛用の一品」などのほか、適宜、特集・特別企画を掲載する。

2. 農業政策をわかりやすく解説する企画

農業を取り巻く情勢を平易に説明しながら、それが個々の経営や地域農業とどのようにかかわっているのかを伝える。

<企画例>

連載企画「今月の農政メモ」「YES農政」「時評」などのほか、日豪EPA交渉やWTO農業交渉、米政策関連などの動きを、適宜、特集記事として掲載する。

3. 地域社会やJAを取り巻く諸課題を考える企画

農業生産はもちろん、環境問題や高齢化などにも焦点を当てながらJAが果たす役割を追求する。

<企画例>

連載企画「農業者のための金言・銀言」「アグリ@ナビ」などのほか、適宜、特別企画を設定する。

4. JA青年部活動に役立つ企画

JA青年部員は、家族、地域、JAそれぞれの後継者であり担い手であると位置づけ、組織活動の参考になる事例を掲載する。

<企画例>

「JA YOUTH 北から南から」「JA YOUTH 活動探訪」「JA YOUTH この人この経営」など。

5. おもしろく、楽しく読める企画

肩肘張らず気楽に読める記事を通じて、農業者の生き方や経営の向上につながるヒントを提供する。

<企画例>

「夢人」「決断の瞬間」「山下惣一の農のダンディズム考」「役重真喜子のふるさとづくり」「美杉村通信」「地上の楽園」など。

子どもたちの健康で豊かな食生活や食習慣を育てるとともに、農業のたいせつさ、地域の食文化やそれをはぐくむ自然のすばらしさなどを子どもたちに伝える「食と農の教育」に重点を置いた内容の雑誌をめざす。命をたいせつにする心、感動する心、思いやりや優しさ、助け合う精神など、子どもたちの健全な心をはぐくむ企画、JAの次世代対策や小学校の「総合的な学習の時間」に活用できるような企画などに重点を置く。また、農業や食のたいせつさをテーマにした付録を年3回刊行する。

重点企画

1. 「食と農の教育」を支援する企画

地産地消の考え方や農業と食べ物のつながりなどについて、子どもたちにわかりやすく解説する。

<企画例>

「育ててみよう やさいくん」「世界の市場と朝ごはん」「知っているかい？ 農業のこと」など。

2. 米を中心とした食への関心を高める料理企画

日本型食生活の重要性と日本の米文化を守る大切さを伝え、米の消費拡大を促す。

<企画例>

「季節のごはん料理とお菓子」「チャレンジ！ お料理迷路」「ごはんつぶのすけ」など。

3. JA活動を理解させる企画

地域で活躍するJAの存在を子どもたちに理解させ、JAと子どもたちを結ぶ企画を掲載する。

<企画例>

「教えて！ JAのお兄さん」「JAのページ」「都道府県クイズ」「なかよし通信」など。

4. いのちをたいせつにする心、感動する心、健全な心を育てる企画

いじめが社会問題化するなか、読み物やグラフなどでいのちのたいせつさ、感動する心を育む企画を充実させる。

<企画例>

「つるばら村の洋品店」「O・ヘンリー短編集」「小泉八雲のこわ～い話」「汚いものにはわけがある 体メカニズム」「動物園飼育日誌」「ワイルドわーど」など。

5. 教育資材として活用できる実用企画

アグリスクール、ちゃぐりんフェスタなどのイベントや小学校の教育教材として活用できる企画を掲載する。

<企画例>

「牛乳パックで簡単工作」「違いがわかる小学生」「自然と遊ぼう」「なぜなぜどうして新聞」「びっくりサイエンスマジック」「なるほど ばあちゃん」など。

4. 『やさい畑』

「菜園生活を通じて豊かなライフスタイルを提案する雑誌」をコンセプトに、市民農園や自給菜園などで自家用の野菜作りを楽しむ地域住民、都市住民に向けて、栽培の基礎的な技術解説と楽しさを伝える。「育てる（栽培技術）」「食べる（料理・加工）」「健康（安全・安心）」「自然と遊ぶ（ホビー）」を4つの柱に、読者の要望に応える情報を提供する。

重点企画

1. 「育てる（栽培技術）」をテーマにした企画
野菜栽培の基本、有機野菜やユニークな栽培、定番・新顔・懐かしい野菜の栽培をていねいに紹介する。
<企画例>
「初心者でも使える技が満載 プロが教える野菜作り」「初めてのオーガニック・ガーデン」「人気野菜の栽培特集」など。
2. 「食べる（料理・加工）」をテーマにした企画
旬の野菜を生かした簡単レシピ、とれすぎた野菜の加工・保存法を紹介する。
<企画例>
「旬のめぐみをいただきます」「つばたさん家の自給自足」など。
3. 「健康（安全・安心）」をテーマにした企画
野菜を使った健康法、新健康野菜の栄養を生かしたレシピ、野菜が健康にもたらす機能を解説する。
<企画例>
「野菜の健康サイエンス」など。
4. 「自然と遊ぶ（ホビー）」をテーマにした企画
アウトドアの遊びや野外料理、自然と暮らすライフスタイルを紹介する。
<企画例>
「日曜日の畑あそび」「菜園DIYを始めよう」など。

「花を咲かせる喜び（栽培技術）」「花を知る楽しみ（花と文化）」「花と暮らす幸せ（花のあるライフスタイル）」をコンセプトとして編集する。園芸・ガーデニングの栽培技術をわかりやすく紹介するだけでなく、インテリア、ファッション、カルチャーなどを含めた花のあるライフスタイルを提案する。園芸・ガーデニングを通じて、都市住民、地域住民に自然や農業への関心を高めることを目的とする。

重点企画

1. 「花を咲かせる喜び（栽培技術）」をテーマにした企画

栽培時期に合わせて人気の植物を取り上げ、初心者向けにわかりやすくていねいに栽培技術を解説する。

<企画例>

「季節ごとの人気の鉢花、花木、観葉植物の育て方」「季節ごとの栽培ガイド」「自慢の庭・オープンガーデン入門」「聞くのがはずかしい栽培方法Q & A」など。

2. 「花を知る楽しみ（花と文化）」をテーマにした企画

花や植物のアート、花にまつわるおもしろくてわかりやすい知的な話題などを掲載する。

<企画例>

「驚き！植物のトリビアの泉」「花や植物に関するアート」「植物の歴史」など。

3. 「花と暮らす幸せ（花のあるライフスタイル）」をテーマにした企画

グリーンインテリアの演出法や花を楽しむ旅行ガイドなど、花を暮らしにとり入れたライフスタイルを紹介する。

<企画例>

「プロに教わるアイデア・フラワーアレンジメント」「花を旅する」「欲しくなるフローラルグッズ」「グリーン・インテリアの楽しみ方」など。

スローライフを志向する時代のトレンドをふまえた衣食住のライフスタイル・生活技術をみがく企画、団塊の世代に向けたリタイア後の「暮らしを楽しむ」「生き方を考える」企画、「食と農の教育」「環境にやさしい農業」などの新しい農業スタイルを提案する企画、協同組合運動の価値を訴える企画に重点を置く。「生活実用書」「教養書」「農業書」「協同組合書」の4つのジャンルにおいて、JAおよび組合員、一般読者の多様なニーズに応える充実した内容の図書を刊行する。

重点企画

- 1 . 料理、園芸、健康を中心とした広く暮らしに役だつ生活実用書
＜発刊予定（仮タイトル）＞
 - 「野崎洋光の野菜練習帳」
 - 「季節の保存食ノート」
 - 「和食の基本大百科」
 - 「小さな畑で毎日収穫 かんたん家庭菜園」
 - 「栽培以前の家庭菜園の常識」
 - 「50歳から若返るスロートレーニング」
 - など

- 2 . 現代の社会が抱える問題をやさしく解説し、心豊かな生き方を提案する教養書
＜発刊予定（仮タイトル）＞
 - 「じいちゃん、ばあちゃんのカ」
 - 「美輪明宏の人生学校 虎の巻」
 - 「家庭で役立つ『食の安全』知恵袋」
 - 「利用者のための介護トラブル解決法 お金とライフプラン」
 - など

- 3 . 農業・農村が果たす役割をアピールし、将来を展望する農業書
＜発刊予定（仮タイトル）＞
 - 「山下惣一の農業原論」
 - 「地域が支える農業」
 - 「新版 みんなの農業教室」
 - など

- 4 . 協同のたいせつさを伝え、理解を深める協同組合書
＜発刊予定（仮タイトル）＞
 - 「よくわかるJA講座」
 - など

7. 企画研究会・通信員・モニター等

『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』の企画の充実を図り、JA・組合員読者のニーズに応えるため、編集通信員、モニター、アンケートほか、さまざまなチャネルを通じて最新情報を収集・調査・学習活動を進める。

実施事項

1. 情報の収集・調査・学習活動

各媒体の充実のための情報収集、読者ニーズ把握のための調査、人権学習と編集法務関係の動向把握などに努める。

2. 広域JA情報通信員・海外通信員の委嘱・活用

各通信員を通じて各媒体に最新情報を提供する。

3. JA生活活動担当者・一般読者のモニター委嘱・運営

『家の光』『地上』の内容充実と読者ニーズの把握に貢献できるように運営する。

【2】協同意識の醸成を図り、地域に輝く元気JAを実現する教育文化活動

1. 教育文化活動の促進・強化

JA教育文化活動が果たす役割と家の光事業について、JA役職員の理解と認識を促進する。また、これからのJAづくりの喫緊の課題である組合員の結集力とJAの求心力を強化するために、各種会議・研修会を開催するなど、JA教育文化活動の具体的な実行方策についての支援を強化する。

さらに、教育文化活動のJA事業計画への位置づけ促進を図るとともに、「教育文化・家の光プランナー」制度の充実・強化をはかる。

実施事項

1. JA・都道府県・ブロック・全国段階でのセミナー、諸会議、研修会の整備と開催促進
 - (1) 広域JAの本・支所(支店)における「JA家の光事業研究会」「JA教育文化セミナー」「編集企画会議」などを通じ、家の光事業への理解促進を図る。
 - (2) 都道府県域における「都道府県JA教育文化セミナー」「都道府県JAトップセミナー」の開催を支援する。
 - (3) 都道府県の「家の光事業推進協議会」「家の光文化賞農協懇話会」の設置を促進する。
 - (4) ブロック域において、常勤役員ならびに幹部職員を対象に「地区別JA教育文化活動実践研究集会」を、生活文化活動企画担当者を対象に「地区別JA生活文化活動担当者研究集会」を開催する。
 - (5) JAトップ層を対象とする「家の光文化賞JAトップフォーラム2007」を「家の光文化賞農協懇話会」と共催する。
2. 「教育文化・家の光プランナー」制度の充実
 - (1) 「教育文化・家の光プランナー」の登録促進を図る。
 - (2) プランナーのスキルアップを図るための専修講座を開催するとともに、都道府県域における会議、研究集会等の開催を促進する。
 - (3) プランナーへ向けJA教育文化活動の具体的展開方策の情報発信を強化する。
 - (4) プランナーの登録JAにおいては、家の光大会、ライフプランセミナーの開催など生活文化活動の積極的な展開を支援する。
3. JA教育文化活動に関する情報収集・調査研究ならびに提案活動の強化
 - (1) JA教育文化活動の実践事例を広く収集し、情報を整理したうえで、JA事業計画への位置づけ促進を図る。
 - (2) 今日的な協同組合運動のあり方をはじめ、JA教育文化活動に資する調査研究に取り組む。
 - (3) JA組合員リーダー層、JA役職員などの意識啓発に役だつ、JA教育文化活動に関するテキストの開発に取り組む。

2. 家の光文化賞と家の光文化賞農協懇話会活動

家の光文化賞、家の光文化賞促進賞の募集をとおり、JAにおける教育文化活動への関心を喚起するとともに、家の光文化賞農協懇話会活動の支援をとおり、教育文化活動の活性化と普及活用運動の促進を図る。

実施事項

1. 第58回家の光文化賞、平成19年度家の光文化賞促進賞の応募促進
 - (1) JAにおける教育文化活動の活性化対策として、第58回家の光文化賞、平成19年度家の光文化賞促進賞を募集し、顕彰する。
 - (2) 合併前に家の光文化賞を受賞したJAについては、再度の応募を促進する。

2. 家の光文化賞農協懇話会活動の活性化と支援強化
 - (1) 「文化と協同の力で地域に輝くJA」「10年後も元気なJA」をめざした平成18年2月の懇話会「特別決議」を支援するため、毎年懇話会総会を開催支援するとともに、「都道府県JA教育文化セミナー」の開催に当たっては都道府県懇話会との共催を進める。
 - (2) 「家の光文化賞JAトップフォーラム2007」「地区別JA教育文化活動実践研究集会」「子ども食と農の教育活動」全国研究集会、「農山漁村女性起業講座」を、懇話会と共催する。
 - (3) 懇話会が独自に取り組む事業（第2回懸賞論文募集、ICAシンガポール総会への参加など）を支援する。
 - (4) 全国6ブロックすべてにおける「地区家の光文化賞農協懇話会」設立を支援する。

【3】組合員の結集力とJAの求心力を高め、世代をつないでJAファンをつくる普及運動

1. 普及活用運動の基本

世代をつないでJAファンをつくり、組合員勢力の拡大を目的に普及活用運動を展開する。教育文化活動および家の光事業のJA事業計画への位置づけを促進し、「教育文化・家の光プランナー」ならびに「家の光文化賞農協懇話会」との連携を強化し、総合推進により『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』の平成19年度目標部数の達成を図る。

実施事項

1. JA事業計画への家の光事業の位置づけの明確化と、普及活用運動計画の策定
 - (1) JA事業計画への『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』の位置づけを促進し、総合推進を基本とした長期愛読者拡大運動に取り組む。
 - (2) 「JA教育文化セミナー」などを開催し、JA役職員にたいしJA教育文化活動と家の光事業への理解促進を図る。
 - (3) 広域JAにおける「教育文化・家の光プランナー」の登録を促進する。

2. 都道府県目標部数の達成をめざす普及活用運動の展開、長期愛読者拡大運動の実施
 - (1) JA中央会と協議のうえ、都道府県別普及活用運動方策を策定する。
 - (2) 都道府県における部数管理、JAの運動進捗状況管理を徹底する。
 - (3) 県域の普及活用運動の展開に向け、「家の光事業推進協議会」の設置、および「教育文化セミナー」などの開催を促進する。

3. 各ブロックにおいて「家の光文化賞農協懇話会」を立ち上げ、地区世話人JAを核としたブロック共励運動の展開
全国6ブロックすべてに「地区家の光文化賞農協懇話会」を設立し、ブロック内JAにおける普及活用運動展開への協力・支援を行う。

4. 広報宣伝活動の強化による准組合員・地域住民にたいする普及活用運動の展開
准組合員・地域住民への普及を促進するため、JA広報誌の活用をはじめ、チラシの作成など広報宣伝活動の強化に努める。

平成19年度目標

『家の光』	平月号目標	660,000部
	12月号目標	850,000部
	1月号目標	700,000部
『地上』	平月号目標	30,000部
『ちゃぐりん』	平月号目標	57,300部
	8月号目標	104,800部
『やさい畑』	組織	20,000部
	市販	48,000部
『花ぐらし』	組織	10,000部
	市販	65,000部
「家の光図書」	組織	217,400部
	市販	400,000部
図書予約組合	Aコース	707口
	Bコース	817口
	合計	1,524口

2. 『家の光』

ＪＡ事業計画への家の光事業の位置づけを促進するとともに、都道府県段階で「教育文化活動セミナー」などを開催して、「世代をつなぐ協同のネットワーク『家の光』長期愛読者拡大運動」を展開する。

実施事項

1. ＪＡの状況に応じた普及活用運動方策の提案と、平成19年度事業計画目標部数の必達
 - (1) 全ＪＡにおいて『家の光』普及活用運動要領の策定を促進し、ＪＡ役職員による計画的な長期愛読者拡大運動に取り組む。
 - (2) ＪＡの個別ニーズに合わせた普及活用方策を策定し、全ＪＡで普及率20%以上をめざす。
 - (3) 「教育文化・家の光プランナー」との連携を強化し、組合員加入促進の取り組みやＪＡ生活文化活動と連動した普及活用運動を展開する。
 - (4) 大量増部ＪＡ、前納更新ＪＡを中心に記事活用・文化活動と連動した維持・継続対策をおこなう。

2. 「ライフプラン＆家計簿」学習・実践運動を生活文化活動の重要な柱に位置づけた12・1月号普及活用全国特別運動の展開
 - (1) ＪＡの総合機能を発揮した生活文化活動の一環としての「ライフプランセミナー」の開催を促進する。
 - (2) 12・1月号を契機とした長期愛読者拡大運動に取り組む。

3. 都道府県目標部数の達成をめざす普及活用運動の取り組み
 - (1) ＪＡ中央会と連携し、長期愛読者拡大運動を基本とした都道府県別普及活用運動の実施具体策を策定する。
 - (2) 管内ＪＡおよび各連合会、関係団体を含めた都道府県における部数管理、運動進捗状況管理を徹底する。
 - (3) 都道府県域の「家の光事業推進協議会」「家の光文化賞農協懇話会」の設置を促進し、ブロック共励運動を展開する。
 - (4) 都道府県域の「教育文化セミナー」「トップセミナー」の開催を促進し、ＪＡトップ層の『家の光』普及活用運動への理解促進を図る。
 - (5) 県版作成による県下一斉運動を実施する。

4. ＪＡ女性組織の学習・実践運動の支援、ＪＡ女性組織と連携した普及活用運動の展開、フレッシュミズ組織への普及活用運動の促進
 - (1) ＪＡ全国女性組織協議会の「次期中期活動計画」に基づき、編集企画に連動した学習・実践運動の一環としての普及運動を実施する。
 - (2) ＪＡが策定する「食農教育プラン」の活動の一環として、フレッシュミズを対象に『家の光』の活用を進める。

3. 『地上』

総合推進を基本とし、特集企画および付録と連動した普及活用運動を中心に運動を展開する。また、広報宣伝活動を強化して新たな読者の開拓を進める。

実施事項

1. 特集企画および付録と連動した『地上』普及活用運動の展開と、平成19年度事業計画目標の達成
 - (1) 地域農業の担い手（JA青壮年部員、女性農業者、認定農業者、集落営農組織リーダー、農業生産法人役員、新規就農者など）への購読を促進する。
 - (2) JA役職員・農業関連団体職員への購読を促進する。
 - (3) 未購読JAの解消を図るとともに、JA支所（支店）への窓口設置を促進する。

2. 重点JAにおける集中的な普及活用運動と前納更新JAにおける総合推進の実施
 - (1) JA女性理事・JA総代・JA新規採用職員などへのJA組織を学ぶ学習・研修会でのテキストとしての活用の促進を図る。
 - (2) 農政課題や流通・消費者情報を中心とした特集企画の広報宣伝活動を強化する。

3. 都道府県目標部数の達成をめざす普及活用運動の取り組み
 - (1) JA中央会と連携し、長期愛読者拡大運動を基本とした都道府県別普及活用運動の実施具体策を策定する。
 - (2) 管内JAおよび各連合会、関係団体を含めた都道府県における部数管理、運動進捗状況管理を徹底する。
 - (3) ブロック版、県版作成による県下一斉運動を展開する。
 - (4) 米、園芸、畜産など品目別関連企画と連動したブロックの共励運動を働きかける。

4. JA青年組織盟友による『地上』皆読・学習運動の展開
 - (1) JA全国青年組織協議会と連携した盟友皆読運動を実施する。
 - (2) 付録月号を中心とした長期愛読者拡大運動を実施する。
 - (3) 現地企画検討会の実施、ブロックや都道府県における青年大会・各種研修会などでの活用を促進する。

5. JA関連団体、農業関係機関への普及および新たな読者の開拓
 - (1) 農業改良普及センター、大学農学部、農業高校などへの定期購読を働きかける。
 - (2) 食と農に関心のある女性など、新たな読者を開拓する。

4. 『ちゃぐりん』

ＪＡが進める「食と農の教育」活動を支援するとともに、総合推進を基本に普及活用運動を展開する。

実施事項

1. 「ＪＡ食農教育プラン」の策定・実践を支援するための特別普及活用運動の展開と、平成19年度事業計画目標の達成
 - (1) 「食と農の教育」を進めるための学習資材として「ちゃぐりんキッズクラブ」「アグリスクール」での活用を促進する。
 - (2) フレッシュミズやＪＡ青年部組織が実施する親子教室での活用を促進する。
 - (3) ＪＡが小学校や行政と連携し、学童農園や農業体験などを通じて、地域ぐるみで子どもを育てるための副読本としての活用を進める。
 - (4) 「子ども 食と農の教育活動」全国研究集会の開催を通じて、『ちゃぐりん』の普及活用についてＪＡへの理解促進を図る。
2. 重点ＪＡにおける集中的な普及活用運動と前納更新ＪＡでの総合推進の実施
 - (1) ＪＡ家の光事業研究会等でトップへの理解促進を図る。
 - (2) ＪＡ役職員・農業関連団体職員の子どもへの購読を促進する。
 - (3) 未購読ＪＡの解消を図るとともに、ＪＡ支所（支店）への窓口設置を促進する。
3. 都道府県目標部数の達成をめざす普及活用運動の取り組み
 - (1) ＪＡ中央会と連携し、長期愛読者拡大運動を基本とした都道府県別普及活用運動の実施具体策を策定する。
 - (2) 管内ＪＡおよび各連合会、関係団体を含めた都道府県における部数管理、運動進捗状況管理を徹底する。
 - (3) 県版作成による県下一斉運動を展開する。
 - (4) 都道府県別目標の達成および8月号を契機とした長期愛読者拡大運動を実施する。
4. ＪＡ全国女性協が進める『ちゃぐりん』プレゼント運動を展開し、組合員はもとより、地域住民への読者の輪の拡大
 - (1) ＪＡ全国女性組織協議会が進める食と農に関する学習・実践運動と連動したプレゼント運動を実施する。
 - (2) 農林年金受給者連盟、年金友の会などに対する、孫へのプレゼント運動を強化する。
5. ＪＡやＪＡ中央会にたいする行政・学校・生協との連携の強化
 - (1) ＪＡが協力して運営している学童農園などへの活用を促進する。
 - (2) 中央会と連携する生協における普及活用運動を実施する。

5. 『やさい畑』

団塊の世代が定年を迎え、家庭菜園への取り組みが増加するなか、菜園生活を通じて農業や自然への関心を高めることを目的として、地域住民、都市住民に普及する。

とくに、JAが主催する市民農園利用者へのテキスト活用を進める。

実施事項

1. JAを通じた普及

- (1) 市民農園開設JAへ普及を働きかける。
- (2) 女性組織および菜園グループなどへ普及を働きかける。
- (3) ファーマーズマーケットおよびJA支店窓口などで委託販売する。

2. 書店を通じた販売

- (1) 書店POSデータの実績をもとにした適正な新刊委託を行う。
- (2) 企画ならびに地域性を考慮した適正配本を実施する。
- (3) 『花ぐらし』および「家の光図書」と連動した販売促進を行う。

3. 広告・宣伝活動

- (1) 全国紙を中心とした宣伝および広告掲載ならびにパブリシティを積極的に展開する。
- (2) 市民農園および資材店舗などでの宣伝活動を行う。
- (3) ホームページなどインターネットによりPRする。

6. 『花ぐらし』

自然を愛するライフスタイルやスローライフ志向が強まるなか、園芸を通じて農業、自然への理解を深めることを目的として、地域住民、都市住民に普及する。

とくに、JAが開催している園芸教室などの受講者への普及や、グリーンセンターなどの園芸資材販売店における展示販売に取り組む。

実施事項

1. JAを通じた普及

- (1) 環境美化運動に取り組むグループや花づくり・園芸教室の参加者など、園芸に関心をもつ組合員を中心に普及を働きかける。
- (2) ファーマーズマーケットおよびJA支店窓口などで委託販売する。

2. 書店を通じた販売

- (1) 書店POSデータの実績をもとにした適正な新刊委託を行う。
- (2) 企画ならびに地域性を考慮した適正配本を実施する。
- (3) 『やさい畑』および「家の光図書」と連動した販売促進を行う。

3. 広告・宣伝活動

- (1) 全国紙を中心とした宣伝および広告掲載ならびにパブリシティーを積極的に展開する。
- (2) 市民農園および資材店舗などでの宣伝活動を行う。
- (3) ホームページなどインターネットによりPRする。

7. 「家の光図書」

組合員・准組合員のニーズに応えた図書をJA組織を通じて普及する。また、農業のたいせつさやJA組織の理解者を増やすことを目的として、書店を通じた販売に取り組む。

実施事項

1. JAを通じた普及

- (1) 実物回覧方式による普及促進ならびにJA役職員向けパンフレットによる普及を展開する。
- (2) JAの合併記念、総代会などイベント時の記念品図書活用促進や、JAオリジナル企画による図書を制作する。
- (3) 図書予約組合への新刊図書情報や活用情報の提供を進めるとともに、未加入JAへの加入促進を図る。
- (4) 教育図書および年次刊行物を普及する。
- (5) JA広報誌やJAのホームページなどへ図書情報を提供する。

2. 書店を通じた販売

- (1) 販売会社との連携を密にした大型チェーン書店対策を強化する。
- (2) POSデータをはじめとしたデータ分析に基づいた販売促進を展開する。
- (3) 季節、テーマ別セット図書の販売促進を実施する。
- (4) 他版元との共同販売を企画する。
- (5) 販売会社、書店からの情報の企画への反映と宣伝活動を強化する。
- (6) 特約店制度を検討する。

8. 広報宣伝

『JA教育文化』『家の光ニュース』の企画を充実させ、JA教育文化活動への理解を促進するとともに、各種メディアを活用して広報宣伝活動を強化する。

実施事項

1. JAトップ層の期待に応える、『JA教育文化』の企画内容の充実と活用促進
 - (1) JA教育文化活動の実践者や協同組合研究者を積極的に起用し、「今後のJAのあり方」を研究する内容を明らかにする企画を充実する。
 - (2) 連載記事の二次利用（テキスト化やウェブ公開など）を進める。

2. 『家の光ニュース』の企画内容の充実と活用促進
「教育文化・家の光プランナー」や生活文化活動企画担当者に役立つ企画内容の充実と、活用の促進を図る。

3. 全国紙、ラジオ・テレビCMなど各種メディアを活用した広報宣伝活動の強化
 - (1) 全国紙における広報展開とイメージアップ活動を強化する。
 - (2) 普及活用運動に連携した、AM・FMラジオでのCMを放送する。
 - (3) 普及と連携した効果的なテレビCMを制作する。
 - (4) 各媒体の内容や発刊情報など携帯サイトを用いて発信する。

4. JA広報誌紙の内容充実に役だつ各種宣伝素材の充実と情報提供
各媒体の宣伝内容を充実させるとともに、JAからの要望を反映しJA広報誌への掲載を促進する。

5. 生活・広報担当者のネットワーク化
 - (1) ICT事業と連携し生活文化活動に資する情報の受・発信などをおし、JA生活担当者のネットワーク化を図る。
 - (2) 広報に資する情報の受・発信などを通し、JA広報担当者のネットワーク化を図る。

6. ホームページ「家の光ネット」の内容の充実
 - (1) 新情報を随時収集し、迅速に更新する。
 - (2) JA教育文化活動に関するコンテンツを制作する。
 - (3) ダウンロードによりJA広報誌などで活用できる、各媒体の宣伝素材を充実させる。

9 . 業務管理システム

広域 J A 時代に対応した業務・管理システムを確立する。

実施事項

- 1 . 実態に即した配本体制の見直し
 - (1) 月内到着を基本にした早期発送体制の確立に着手する。
 - (2) J A との協議・検討に基づき、実態に即した配本体制を実施する。
 - (3) 発送態勢ならびに業務改善による効率化を図る。

- 2 . 広域 J A に対応した読者管理システムの開発
読者管理優良 J A における実践事例を参考に、J A における普及運動や事務処理軽減に役だつ読者管理システムを開発する。

- 3 . 定期普及見本誌制度の見直し
普及拡大に向け、定期普及見本誌の有効活用を目的に、制度全体について見直しを図る。

- 4 . 年間予約購読〔前納〕制度の検討
長期愛読者拡大と定着をめざして、年間予約購読〔前納〕制度の運用面方策を立案する。

【4】人と組織と地域を結び、暮らしを豊かにする記事活用・文化活動

1. 記事活用による文化活動

人・組織・地域の元気づくりを進め、『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』を用いた記事活用を積極的に展開する。これらの集大成の場として、「第50回全国家の光大会」を開催する。

組合員の結集力、JAの求心力を強化する文化活動をとおして、組合員・地域住民・次世代の心豊かな暮らし、幸せづくりに努める。

実施事項

1. 愛読者・組合員とJAとの結びつきを深める、JA（本・支所）・都道府県域（地区別）・全国家の光大会の開催促進
 - （1）記事活用・文化活動の活動成果の発表の場として、家の光大会の開催を促進する。「家の光ネット」などを活用した開催事例紹介など、企画内容の情報提供を進める。
 - （2）記事活用・文化活動の集大成の場として、「第50回全国家の光大会」を記念の大会として開催する。

2. 暮らしの計画化を進める「ライフプラン＆家計簿」学習・実践運動の促進
 - （1）全国「ライフプラン＆家計簿」セミナーを開催する。
 - （2）JA・都道府県域の「ライフプラン＆家計簿」セミナー開催を支援し、講習会資料を提供する。
 - （3）「ライフプラン＆家計簿」のモデルJAを設定する。
 - （4）家の光ネットでは、パソコン版「家の光家計簿」を実施するとともに、情報提供の充実に努める。
 - （5）「ライフプラン＆家の光家計簿」体験文募集を実施する。

3. JA全国女性協と協力した「農家の家計実態調査」の実施
JA女性組織メンバー、「家の光家計簿」利用者などに協力を依頼し、費目別集計による農家の家計調査を実施・公表する。

4. 「家の光記事活用グループ」の結成促進とネットワーク構築による交流促進
 - （1）JAにおける「家の光記事活用グループ」の活動実態調査ならびに結成を促進し、『家の光』『家の光ニュース』などで紹介する。
 - （2）「家の光記事活用グループ」の活動発表の機会を設け、仲間との交流を図り、活動の活性化を進めるために、交流会の開催を促進する。

5. 生活文化活動の活性化支援

- (1) 「J A家の光手芸教室」「J A家の光健康教室」「J A家の光絵手紙教室」開催と、『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』の記事活用を促進する。
- (2) J Aへの理解を促進する企画（「みんなのJ A教室」など）を使った学習会の開催を促進する。
- (3) 家の光選定歌の普及拡大を進める。

6. 生活文化活動を促進する講師陣の充実

- (1) 「家の光専門講師」「都道府県家の光講師」活動の促進を図る。
- (2) J A生活文化活動を促進する新たな講師の充実に努める。

2. 食と農の教育

『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』を用いた記事活用・文化活動を積極的に展開し、食と農のたいせつさを組合員や地域住民に広める。地域に伝わる食文化を守り、地産地消と米を中心とした日本型食生活の定着、地域内自給率の向上を進めるための活動に取り組む。

組合員の結集力、JAの求心力を強化する文化活動を通して、組合員・地域住民の安全・安心な食生活と健康で心豊かな暮らしの実現を図る。

実施事項

1. 生産者と消費者の交流に資する「クッキング・フェスタ」の開催
食の安全・安心と地産地消を促し「食と農の教育」をすすめるために、全都道府県での開催に向け、開催JAの条件に応じた企画内容の提案を進める。
2. 「JA家の光料理教室」「都道府県家の光料理教室リーダー研修会」の開催促進
 - (1) 地域住民を巻き込んだ、地産地消を進める「JA家の光料理教室」の開催提案と活用資材の充実に努める。
 - (2) 地域におけるリーダー育成を目的に「都道府県家の光料理教室リーダー研修会」の開催を進める。
 - (3) 家の光ネットの「料理教室の部屋」からの情報発信の充実に努める。
3. 第5回「ザ・地産地消 家の光料理コンテスト」の実施
地域内自給率の向上、食と農への理解者拡大に向けて、地産地消料理の開発・定着を図る。
4. 「食と農を結ぶ 家の光オープンフォーラム」の開催を通し、都市生活者をはじめ広く女性を対象にした食と農の教育の展開
浜美枝さんをレギュラー・コーディネーターに迎え、「食と農」を通じて生産者と消費者の交流を目的に、年3回を目途に、全国主要都市で開催する。

3. 次世代対策支援

子どもたちを対象にしたJAの「食と農の教育活動」を活性化するために、JAや都道府県における各種イベントや農業体験グループの育成を支援し、全国域における研究集会などを開催する。

併せて、「食と農の教育活動」に役立つ資料や資材を作成し、その提供に努める。

実施事項

1. JA、都道府県域「ちゃぐりんフェスタ」の開催促進
 - (1) 「ちゃぐりんフェスタ」優良事例集の作成およびイベントカリキュラムや『ちゃぐりん』の活用法を提案する。
 - (2) 「ちゃぐりんフェスタ」参加者へ記念品などを提供する。
 - (3) 『ちゃぐりん』の執筆者などの講師陣リストを作成する。

2. 年間を通じて「食と農の教育活動」を目的に展開する「アグリスクール」「ちゃぐりんキッズクラブ」の結成促進
 - (1) 「アグリスクール」優良事例および実践マニュアル集を作成・提供する。
 - (2) 『ちゃぐりん』活用の提案、とくに「アグリスクール」「ちゃぐりんキッズクラブ」結成JAに対し、年間を通して活用情報を提供する。

3. 「食と農の教育」に役立つ資材の開発・提供
 - (1) パネル、紙芝居、寸劇台本などを作成する。
 - (2) 『ちゃぐりん』付録・本文記事の二次利用を検討し促進する。

4. 「子ども 食と農の教育活動」全国研究集会の開催
 - (1) JA事業計画に反映できる開催時期を検討のうえ、東京で開催する。
 - (2) テーマや内容の充実に努め、参加促進を図る。

5. 「あぐりスクール全国サミット」の開催支援
 - (1) 「あぐりスクール実行委員会」の事務局として、開催を支援する。
 - (2) テーマや内容の充実に努め、参加促進を図る。

6. 「世界こども図画コンテスト」の実施

- (1) 子どもたちが国や言語を越えて相互理解を進める方法の一つとして、図画をとおした友好・親善を図り、人間性をはぐくむことを目的に実施する。理解促進のために、各機会をとらえたパブリシティーを展開する。
- (2) 第15回コンテストにおける図画を募集する。
- (3) 第15回コンテストの入賞者表彰式を開催する。
- (4) 第14回コンテスト入賞作品の展示会を、国内3会場、海外(韓国)1会場で開催する。
- (5) 入賞作品をJAはもとより、学校や美術教育学会などへ貸し出すことにより美術教育や学術研究に貢献する。

7. 農林水産省、JA全中と連携し、農業体験に取り組む子どもたちのグループ活動の全国ネットワーク「子どもファーム・ネット」の事務局機能の発揮

- (1) ネットワークの拠点となる都道府県推進協議会の設置を図り、登録グループ数、活動コンクール応募者の拡大をめざす。
- (2) ホームページ上の交流機能を強化する。
- (3) 東京において全国交流会を開催する。

4. 読書運動

心豊かな暮らしをめざし、読書のすばらしさを広める運動を展開する。読み聞かせ活動の促進や、各種読書推進団体と連携した活動を展開するとともに、JAに対する支援を強化する。

実施事項

1. 「家の光読書フェスタ&読書ボランティア養成講座」、「家の光読書ボランティアスキルアップ講座」の開催と読み聞かせ講師の派遣
 - (1) 読書のすばらしさを伝えるため、家族みんなで楽しめる「読書フェスタ」を全国3会場で開催する。
 - (2) 読み聞かせなどの読書ボランティア活動を促進するため、「読書ボランティア養成講座」を「読書フェスタ」と同時開催する。
 - (3) 読書活動を推進するボランティアのスキルアップのための講座を、1会場で開催する。
 - (4) 読み聞かせを学習しようとするグループに、養成講座の修了者を講師として派遣する。

2. 読書推進団体との協力関係を強化することにより、新たな読書運動方策の研究開発
 - (1) 文字・活字文化推進機構などとのタイアップにより本会の読書活動を実施する。
 - (2) (財)出版文化産業振興財団などとの読書活動の共同実施を研究開発する。
 - (3) (社)日本児童文芸家協会などと共同で新たな取り組みを研究開発する。

3. 地域に向けた新たな読書運動の構築
 - (1) 地域における読書推進団体と連携して読書運動を支援する。
 - (2) 「家の光読書フェスタ&読書ボランティア養成講座」などと連動したかたちで市町村と連携して、「一日10分間読書運動」の展開や、読書イベントを集中的に実施する。

4. 「家の光読書エッセイ」の募集
読書に関連したさまざまな体験や感想をもとにしたエッセイを広く募集し、優秀作品の発表を通じて読書の楽しさやたいせつさを広める。

5. JA生活文化活動における読書運動の展開
 - (1) 各種会合や「JA家の光大会」における「持ち寄り読書」「読み聞かせ読書」の提案、促進を図る。
 - (2) 読書ボランティアに携わる読書グループの育成を進めるJAへ協力する。

6 . 第 6 2 回全国農村読書調査の実施

読書運動推進のための調査研究として農村の読書状況を把握するために、農村読書調査を実施する。

5. 女性の活動支援

J A 全国女性組織協議会が策定する次期中期活動計画の活動テーマをふまえ、J A 女性組織の部員拡大・活動活性化に寄与する企画を充実するとともに、記事活用・文化活動を通じて学習・実践運動にたいする協力・支援を行う。

また、農山漁村で起業し、社会参画をめざす女性を支援する「農山漁村女性起業講座」を実施する。

実施事項

1. J A 全国女性組織協議会の次期中期活動計画で策定する活動テーマに沿った企画制作
 - (1) J A 全国女性組織協議会と連携のもと、「食と農」をはじめとした重点課題の学習運動に役立つ企画を進める。
 - (2) 企画例「地産地消と食と農の教育」「地域をあげて学校給食の食材提供」「親子で楽しむ家庭菜園」「ライフプランで夢の実現」など。

2. J A 全国女性組織協議会の次期中期活動計画で策定する活動テーマに沿った学習活動への協力・支援
 - (1) 「ライフプラン＆家計簿」学習・実践運動をはじめ、J A 女性組織活性化に向けた学習活動を支援する。
 - (2) J A 全国女性組織協議会の次期中期活動計画で策定する活動テーマと連携した学習・実践運動を進める。

3. J A 女性組織の活性化に向けた活動支援
 - (1) 全国女性大会、フレッシュミズ全国集会などの開催に協力・支援する。
 - (2) 地区別および都道府県におけるリーダー研修会への開催に協力・支援する。
 - (3) J A 女性組織の活性化に役立つ実践事例を広く収集し、提供する。

4. J A 女性組織・組合員・地域住民を対象に J A が進める若い女性リーダーを育成するための「J A 女性大学」などの開設支援
 - (1) 「J A 女性大学」の企画内容について相談に応じるとともに、開設経費の一部を助成する。
 - (2) 「J A 女性大学」で活用するテキストを開発し、提供する。

5. 農山漁村における女性の社会参画・自立支援のための、農山漁村女性起業講座の開催
農山漁村で起業する女性に、起業に必要な法律や経理の知識、経営のノウハウなどを学んでもらうため、実践編を2会場、強化編を1会場で開催する。

【5】JA・地域の元気をめざす、新たな事業領域への挑戦と事業革新と業務改革による、組織運営と経営基盤の強化

1. 新しい事業開発

本会のもつノウハウを最大限に生かし、元気なJAと地域づくりに貢献する新たな事業の開発研究に取り組む。文化と協同の力をよりどころに、ICTによる情報の受・発信、新たな場づくり支援、農山漁村に関する研究など、柔軟な発想で時代に即応した開発研究に取り組む。

実施事項

1. 新たな雑誌媒体の可能性の検討

- (1) 協同組合がたいせつにする考え方を広く伝えるとともに、人・組織・地域の元気づくりを進めるための新雑誌の創刊をめざした検討に取り組む。
- (2) 准組合員や地域住民を含む読者を想定し、新たな年代層読者への普及拡大をめざす。

2. ICT事業展開のための基盤整備

- (1) ホームページ「家の光ネット」、「Web花ぐらし」などのウェブサイトのメンテナンスを総合的に行い、活性化を図る。
- (2) 『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『花ぐらし』『家の光図書』の企画内容や普及文化関係の情報をウェブマガジンにまとめ、JA、JA中央会へメール配信する。
- (3) 既存活字媒体、フォトサービスのデジタル化によるビジネスモデルを研究・開発するほか、二次使用できる、テーマごとのオリジナル・デジタルコンテンツを蓄積していく。
- (4) デジタル事業(ウェブ事業)に向けて、部署ごとに必要な環境整備と実践的・専門的な研修会を定期的を実施していく。

3. JAの「元気高齢者にたいする取り組み」の情報収集と提供

- (1) 高齢者が元気で社会や地域とのかかわりをもちつづけることを基本に、帰農・就農の支援や生きがいづくり、年金友の会など既存組織の活性化に役立つ生活文化活動などについて、情報収集とその提供を行う。
- (2) JAへの結集を図るための多彩な場づくりのための、新しい活動メニューについて研究を進める。

4. 地域と女性を元気にする活動の研究開発

- (1) 食と農を機軸に生産者・消費者の連携を促す活動や、地域振興に役立つコミュニティの創出や諸活動の支援など、文化と協同の力による元気な地域の持続的発展に貢献する活動を研究開発する。

(2) 地域農業や地域社会に占める女性の役割の重要性を認識し、助け合い活動や起業など、女性の地位向上と地域活性化に貢献する活動を支援する。

5 . J A で活用しやすい、対象者・目的などに対応した教育資材の企画・制作

(1) 総代や組織リーダー、あるいは新規加入組合員や准組合員など、対象を明確化した協同組合学習（組合員教育）資材を企画・制作する。

(2) ブックレット（小冊子）、DVDなどの開発を進める。

(3) 企画・制作ならびに普及にあたっては、J A の要望に応え活用方策も含めて提案・協議する。

6 . 農業・農村・J A に関する基礎的調査研究

(1) 農業・農村・J A に関する今日的な課題や地域文化などについて、基礎的調査研究を行う。

(2) 収集した情報や調査結果については、研究者の利用や政策立案にも資するよう、ICT事業との連携をとおして広く社会に公表していく。

2. 組織運営ならびに経営基盤の強化

「JAの組織基盤の拡充強化ならびに地域貢献支援」を果たす家の光事業の総合力を発揮し、JA組織からの負託と期待に応える事業展開を進めるため、職員の意識改革と業務改革を基本にした積極的な事業推進を実施し、事業計画の達成および経営基盤の強化を図る。

また、コンプライアンスを遵守し、公益法人としての協会の社会的責任・役割をふまえ、農村地域やコミュニティーのニーズに応えるとともに、ICTを活用することなどで情報発信機能を整備する。

実施事項

1. 公益法人制度改革への対応

定款に定められた目的を遂行するため、平成18年6月に公布された「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」「公益社団法人及び公益財団法人に関する法律」への準備・対応を図る。

2. 広域JA時代に対応し、JAの意思反映を強化した事業運営の展開

諸会議、研究集会を通じて、家の光事業へのJAの意思反映の強化に努める。

3. 部門別収支改善を基本とした業務改革とコンプライアンス態勢を遵守した事業体制

(1) 部門別収支管理により目標の達成をめざした業務遂行により、経営基盤の強化に努める。

(2) 本会役職員のコンプライアンス遵守、人権学習を進め、意識の向上を図り、法令および本会諸規程などに基づいて業務を遂行し事業運営を図る。

4. 編集企画との連動や本会の文化活動との連携などに留意し、読者の生活ニーズに応える広告事業の展開

(1) 編集企画とのタイアップ広告などを進め、集広機能の強化を図る。

(2) 本会文化事業やJAが展開する事業と連携した広告事業を展開する。

5. 公益性を重視した資産の活用

(1) 安全性を最重視し、かつ安定した資金運用を行う。

(2) 事業活動の公益性・社会性を高め、施設の有効活用を図る。

6. 職員の意識改革と業務改革による、積極的で活力のある職場づくり

(1) 目標達成意欲とチャレンジ精神の高い職場風土と、協働し連携して成果を上げる職場づくりを進め、諸制度を整備する。

- (2) 全職場でOJTを徹底するとともに、職員教育研修制度を整備し、計画的な人材育成と能力開発に努める。また、JA教育文化活動を積極的に支援するための専門研修を強化する。

実施事項	実施内容
職員研修制度	全体研修 階層別研修 部門別研修 専門研修（JA教育文化活動など、特別研修）
OJTの充実	OJT目標の明確化とライン長研修の実施
自己啓発支援	外部研修受講支援など

7. 情報システムの整備・拡充ならびに業務の効率化

- (1) セキュリティを考慮した情報システムの整備を図り、業務の効率化を進める。
- (2) 有益で利用しやすいサイトへの改善を進め、ホームページやネットの活用を図る。
- (3) 食と農の教育や次世代対策をはじめとした、教育文化活動の情報コンテンツの整備・拡充を進める。

8. 協同組合間の提携促進ならびに海外の協同組合などとの国際交流の促進

- (1) 日本協同組合連絡協議会（JJC）の活動を通じ、生協、漁協、森林組合などとの連携を進める。
- (2) 国際協同組合同盟（ICA）、国際ライフアイゼン連盟（IRU）など、海外の協同組合との連携を進める。
- (3) 韓国農民新聞社、中国農村雑誌社、吉林農業大学など、海外友好団体との交流を進める。